

# 市政に対する一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。3月定例会では、3月16日・17日の本会議で15人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、5ページまで続きます)。

見出し部のQRコードから市議会ホームページに掲載の各議員の一般質問の録画映像にアクセスできます。



公明党 井上 賢二

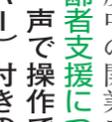
### デジタル化に向け書かない窓口の導入に至った経緯は



**Q** 行政窓口で申請書類を記入しなくても申請できる「書かない窓口」の導入に至った経緯は。また救急現場でのデジタル化推進の考えは。  
**A** 人員配置など受付体制の見直しが課題であったが、



### 道の駅について



**Q** 令和3年の地質調査により、計画地の一部から埋設物が確認されたことから事業の見直しが決定されたが、今後の道の駅のビジョンは。  
**A** 5年1月に新たな事業予定地を公表し、現在、事業計画の策定を行っている。道の駅は地域経済の活性化により、市のシンボルになると考えられ、今後、事業の積極的な情報発信を行い、事業への意識醸成と事業進捗を図り、



創政会 古市 正

### 自治会などへ防犯カメラ設置費用の助成を考えないか



**Q** 地域の防犯意識向上につながるよう、防犯活動を行う自治会などへ防犯カメラの設置費用を助成しないか。  
**A** 維持管理経費など自治会の負担は増えるが、地域の防犯力向上は不可欠であるため、助成の在り方を検討し、実施に向け、取り組んでいく。



あやせ未来会議 安藤多恵子

### 高齢者のニーズに合わせた移動支援事業の拡大を



**Q** 住民参加型移動支援事業では、内容の拡充が求められているが、要綱を見直す考えは。また、コミュニティバスの再編と同時に新たな移動支援の実証実験を行わないか。  
**A** 必要に応じて要綱の見直しの検討を行っていく。また、福祉的な移動手段の確保と併せ、公共交通の利活用など、調査研究をする必要があるため、関係部署と連携を図りながら検討していきたい。



創政会 武藤 俊宏

### ごみ収集管理の課題認識と戸別収集に向けた考えは



**Q** ごみ収集の課題について  
**Q** 高齢化や自治会加入率の低下により、自治会などからごみの収集所管理に苦勞していると感じているが、課題をどう認識しているか。  
**A** 収集所の清掃など、負担が生じていることは承知しており、清掃行政の在り方を検討していく必要がある。

**Q** 認知症対策の充実について  
**Q** 認知症の簡易セルフ検査に取り組んでいく考えは。  
**A** 検査の結果を受け、過度に不安感を増大させる参加者が多かったため、気軽にできるデジタル検査を再検討している。まずは、一般に公開されている自己診断テストのリンク先をホームページに表示

**Q** 小学生のうちから自主的な学習意識を高めるため、学び舎の導入やコミュニティ・スクールを活用し、放課後の学び場開設を検討しては。  
**A** 学び舎の導入は現在検討していないが、コミュニティ・スクールで、各学校の実情に応じた学び場の開設につなげられるか研究したい。

**Q** ロケッツリズムは、ふるさと意識の醸成に重要な事業である。今後、市民を巻き込み、どう事業を展開するか。  
**A** 今後、広報誌などには事業概要だけでなく、相談内容の具体例も掲載するなど、世代に適した周知方法で認知と活用につなげていきたい。

「あやせ市議会だより」は、直接お届けしています  
あやせ市議会だよりは、市シルバー人材センター(☎0467-70-3088)の会員が配布しています。  
次号は、令和5年8月15日に発行予定です。

詳しい内容は会議録・HPで  
市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

綾瀬市議会 検索